

主要施策名:(4)上水道・下水道の整備促進

事務事業本数:2

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業 コード	事務事業	所管課
②人と自然にやさしい環境のまちづくり	(4)上水道・下水道の整備促進	(1)上水道などの整備	241-1	家庭用井戸水検査事業	環境整備課
		(2)下水道などの整備	242-1	浄化槽設置整備事業	上下水道工務課

# 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	家庭用井戸水検査事業		所管課【2】	環境整備課
			評価者(担当者)	塚本昭広
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と自然にやさしい環境のまちづくり		
	主要施策(節)	(4)上水道・下水道の整備促進		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(1)上水道などの整備		
	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 水道法、水質基準に関する省令 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 4 項 1 目 2 細目 2			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	上水道が普及した現在でも、様々な理由から未整備の地区が残っており、一般家庭で井戸水を飲料用や生活用水として使用している。
対象(誰、何に対して) 【9】	上水道未整備地区の市民
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	上水道未整備地区の住民に水質検査に対する補助金を支出し、検査を実施することにより、家庭用飲料水の安全性を確認する。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	・上水道未整備地区住民の家庭用井戸水の水質検査に対し補助金を支出し、市で取りまとめて検査機関に委託する。		事務事業を構成する細事業 【15】
			① 家庭用井戸水検査業務
			②
			③
			④
			⑤

## 《事務事業実施に係るコスト》

			H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	%	0	0	0	0	0
		県支出金	%	0	0	0	0	0
		起債	%	0	0	0	0	0
		受益者負担		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
		一般財源		327	276	460	469	0
		【16】 小計		327	276	460	469	0
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0	0	0	0	
	職人 員 件 の 費	職員人工数		0.16	0.16	0.13	0.13	
		職員の年間平均給与額(千円)		5,761	5,871	5,871	5,871	
【17】 小計			922	939	763	763		
合計			1,249	1,215	1,223	1,232		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 家庭用井戸水検査業務	井戸水の水質検査に補助金を支出し、検査を行う	水質検査補助件数	件	71	60	100	100
②							
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	
1 飲用適格率	適格件数 / 申請件数 × 100	%	100	100	100	100
			100	100	100	
2						

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	上水道未整備地区住民に対して行っている補助であるため廃止した場合、住民の健康が脅かされる。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	上水道未整備地区住民の安全な生活用水の検査を実施することで、健康被害を抑制するため、この事業は継続する必要がある。また、より多くの上水道未整備地区住民が利用できるように、広報誌の紙面の充実等を図っていく。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	特になし。

■ 評価責任者記入欄 ■

評価責任者(課長)の所見【33】	上水道未整備地区住民の飲料水の安全を確保し健康被害を抑制するため、井戸水質検査の補助は今後も継続する。	評価責任者 村崎 信介
------------------	---	----------------

# 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	浄化槽設置整備事業		所管課 【2】	上下水道工務課
			評価者(担当者)	中尾 賢治
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と自然にやさしい環境のまちづくり		
	主要施策(節)	(4)上水道・下水道の整備促進		
	施策区分 (市民意識調査結果)	(2)下水道などの整備		
	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input checked="" type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 浄化槽法、市浄化槽設置整備事業補助金交付要綱 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 4 項 1 目 9 細目 1			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	公共下水道・農業集落排水処理区域外の用排水路及び河川等の水質保全・生活環境の向上、公衆衛生環境の向上を図る必要がある。
対象(誰、何に対して) 【9】	公共下水道・農業集落排水処理区域外(玉名・岱明・横島)で浄化槽を設置する市民
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	浄化槽を設置することで、生活排水による用排水路及び河川の水質汚濁防止を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	・浄化槽を設置しようとする申請者に対して、補助金の交付事務(申請書の受付から設置後の現場確認及び補助金交付まで)、国・県への補助金の交付申請・受入事務、それに伴う実績報告事務 ・浄化槽未設置の世帯に対して、広報誌等により普及促進を図る事務 ・権限委譲により、設置者への検査・保守点検実施指導業務 ・既存住宅の汲み取りや単独浄化槽から合併浄化槽への切替を行ったときに追加補助をする事業	⇒	事務事業を構成する細事業 【15】 ① 浄化槽設置整備事業 ② 浄化槽推進業務 ③ 浄化槽整備事業特別会計繰出金業務 ④ 浄化槽設置附带工事補助金業務 ⑤

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金 33.3 %	16,626	15,794	13,768	34,905	0
		県支出金 33.3 %	19,985	18,529	16,212	25,203	0
		起債 %	0	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	37,853	32,403	26,558	38,937	0
		【16】 小計	74,464	66,726	56,538	99,045	0
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0		
	職人 員 件 の 費	職員人工数	1.26	1.23	1.50	1.23	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,761	5,871	5,871	5,871	
【17】 小計		7,259	7,221	8,807	7,221		
合計		81,723	73,947	65,345	106,266		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画
① 浄化槽設置整備事業	浄化槽設置者に対し、補助金を交付する	設置基数	基	117	104	83	150
② 浄化槽推進業務	広報誌等により浄化槽の普及促進を図る	掲載回数	回	3	3	3	3
③ 浄化槽整備事業特別会計繰出金業務	浄化槽特別会計への繰り出し	繰り出し回数	回	1	1	1	1
④ 浄化槽設置附帯工事補助金業務	浄化槽設置者に対し、補助金を交付する	設置基数	基	65	50	39	90
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
			H26実績	H27実績	H28実績	H29実績
1 年間処理水量	(5人槽 0.2㎡×5人×設置基数+7人槽 0.2㎡×7人×設置基数+10人槽 0.2㎡×10人×設置基数)×365日=年間処理水量	㎡	81395	65627	80957	65627
2			49129	44968	34237	

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定)	実施主体の妥当性 【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	成果指標では未達成だが、申請者全員に補助金を支払った。28年度は熊本地震の影響で申請者が減った。
	目的の妥当性 【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響 【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度 【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地 【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度 【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地 【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地 【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地 【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地 【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地 【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

一次評価時点における今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	附帯工事補助金に対する県補助が開始され単独費の支出が縮小した。集合処理未整備地区の水洗化の方法は浄化槽しかないため今後も現状のまま継続する。 広報やホームページへの掲載は今後も継続する。
前回の評価結果に対する見直し・改善状況【32】	広報に補助金額を追加掲載した。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	浄化槽設置整備事業は、本市生活排水処理区域のなかで最も広域な面積を有しているが、農村地域が大部分を占めているので、高齢化により水洗化が遅れている。平成25年から附帯工事補助金を開始したことにより、水洗化の伸びが図られているが、今後も引き続き浄化槽整備普及を行い、住環境の改善、水質保全の向上を推進する。	評価責任者 <b>片山 敬治</b>
------------------	---	-----------------------